

【概要】

住宅ローン利用者の実態調査

【住宅ローン利用予定者調査(2021年4月調査)】

I 調査の概要

今後5年以内に住宅を取得する計画があり、かつ、住宅ローンを利用する予定がある方を対象とし、希望する住宅ローンの金利タイプ、住宅取得に向けた意識や行動などについて調査を実施し、その結果をとりまとめたものです。

(参考) 調査実施時期：2021年4月26日～5月5日、回答数：1,500件

II 調査結果の主なポイント

〈〉は、本調査結果の詳細資料中の該当ページ

1 利用予定の金利タイプでは、「変動型」がやや減少し、「固定期間選択型」と「全期間固定型」は概ね横ばい 〈p. 2〉

- ・「変動型」：36.3% (2020年11月調査37.4%)
- ・「固定期間選択型」：33.8% (同33.5%)
- ・「全期間固定型」：29.9% (同29.1%)

2 今後1年間の住宅ローン金利見通しについて「ほとんど変わらない」が4割となったが、「現状よりも低下する」は減少し、「現状よりも上昇する」、「見当がつかない」が増加 〈p. 3〉

〈今後1年間の住宅ローン金利見通しについて(全体)〉

- ・「現状よりも上昇する」：24.8% (2020年11月調査21.4%)
- ・「ほとんど変わらない」：40.0% (同44.0%)
- ・「現状よりも低下する」：11.7% (同13.7%)
- ・「見当がつかない」：23.5% (同20.9%)

3 住宅の買い時意識では、「分からない」が引き続き約4割 〈p. 5、p. 6〉

〈今(今後1年程度)の住宅の買い時意識〉

- ・「分からない」：44.7% (2020年11月調査42.4%)
- ・「買い時だと思う」：33.4% (同37.9%)
- ・「買い時だと思わない」：21.9% (同19.7%)

〈買い時だと思う理由(複数回答可)〉

- ・「住宅ローン金利が低水準だから」：75.4% (2020年11月調査76.8%)
- ・「税制のメリットが大きいから」：42.7% (同34.7%)
- ・「住宅価格が安くなったから」：25.9% (同29.4%)
- ・「住宅取得促進策が実施されているから」：21.4% (同15.9%)
- ・「金融緩和政策が継続しているから」：19.6% (同15.3%)
- ・「その他」：2.4% (同1.5%)